

岡部企画プロデュース 44

脚本・演出 / 岡部耕大

佐賀商業野球部のエース石丸進二は無骨で頑固、融通のまゝでできない佐賀県人特有の異風前(いひゅうもん)である。時は戦局拡大の一歩手前、旧制高校特有の雰囲気の中で進二は若菜東三、古賀信次郎、南里光義らに「戦時下の青春」を謳歌していた。禁制の男女交際、煙草、映画見物、喧嘩沙汰。

すでに信一の兄藤吉は結成されたばかりの職業野球団・名古屋軍(中日ドラゴンズの前身)に在籍して活躍中で、給料の半分を実家に送金して父の莫大な借金の肩代わりをしていた。「喉から火のぞこ」たる練習を終えた夏の夕暮れ、進二は二人の美少女に出会う。桜井圭子。東京生まれの知的で清楚な香りのする圭子に進二は激しい恋をする。石丸進二、17歳。昭和16年3月。進二は一家の苦境を好きな野球で支えるべく職業野球界入りを決意する。17年春、有力選手の出征で戦力不足に悩む監督小西得郎は進二を抜擢した。名古屋軍投手石丸進二のデビューである。この年17勝13敗。そして翌18年20勝12敗の成績をあげ、剛腕本格派としてエースに成長した。

赤トンボ ぶんと飛んだ 来

で進二と圭子の愛は激しく燃える。昭和20年冬。鹿児島県鹿屋基地。次々と繰り出す特攻機の無残な結果を特攻隊員たちは知る由もなく、己の死の意味を見出さそうと苦悶する。

圭子は空襲で死んだと知らせる圭子の母からの手紙とともに、進二の出撃の朝が来る。進二は特攻機の前で別れの杯を投げ付け、かつて六大学で活躍した同期の本田耕一を相手に最後のピッチングを始める。

進二「昭和20年5月10日……。いよいよ明日を期して24年の短い生涯を終わります。わたしの野球生活は僅か3年余り。しかし、野球のお陰で親兄弟に幾分つくし得たことがせめてもの慰めです。……出発前に、あの時頂いたユーポールで最後のピッチングをいたします」

ドルトラの「思い出」が流れた。

進二「……(投げて)親父」
本田「受けてストライイク」
進二「……(投げて)おふくろ」
本田「受けてストライイク」

進二「……(振りかぶりながら、咳く)古賀信次郎。……若菜東三。……南里光義。……佐賀鍋島三十五万石の城下町。投げる」
本田「受けてストライイク」

進二「こいは俺とおまえの魂のキャッチボールぞ、圭子」

1990年10月の初演から感動と伝説を生み続ける名作が戦後60年に蘇る。

圭子「……母が、今日……。遅くなくてもいいって」
そして、永劫の別れ。死への不安と生への渴望の狭間



志水研人



若宮優子



小池雄介



谷代克明



小澤俊明



見上裕昭



岡本龍太



増山浩一



岡部大吾



原口優子



いわいのふ健



服部桂吾



今井徳太郎



中野智



葦澤恒



茅根直美

CAST

STUFF 美術/寺岡 崇 照明/西尾憲一 音響/斎藤英士 衣裳/松竹衣裳
宣伝美術/岡部萌子 写真/山本悟正 舞台監督/上林英昭 制作/岡部企画 協力/劇団朋友

新宿南口紀伊國屋サザンシアター

10月5日(水) ▶ 7日(金) → 18:00開場 18:30開演
10月8日(土) ▶ 9日(日) → 13:30開場 14:00開演

チケット 発売開始9月1日(木) <全席指定>

- 一般4,500円
 - ペアチケット (岡部企画扱い/要予約) 8,500円
 - グリーンチケット (岡部企画扱い/18歳以下) 2,500円
- お問合わせ・販売先
◆岡部企画 044-933-9754
◆電子チケットぴあ 0570-02-9988
◆イープラス(パソコン・携帯) eee.eplus.co.jp
◆キノチケットカウンター 新宿東口紀伊國屋書店5F (店頭販売のみ10:00~18:30)

企画・制作/岡部企画 ■TEL.044-933-9754 ■〒114-0031 神奈川県川崎市多摩区東生田1-12-7
■URL.http://www3.plala.or.jp/koudai/ ■E-MAIL.ko@lilac.plala.or.jp

